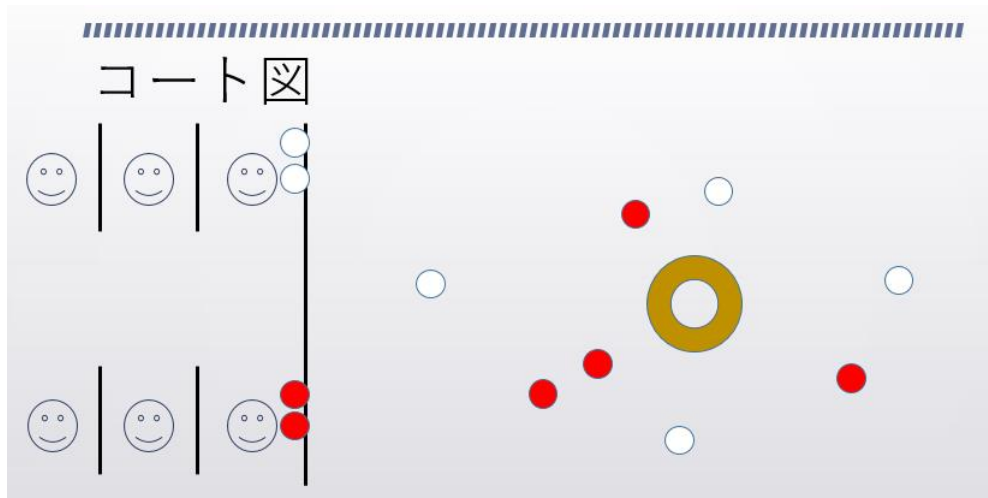


コロナ禍におけるゲーム

ぺたころ



このゲームのよさ・身に付けさせたいこと

このゲームは、規則がシンプルで考えながらゲームできることが特徴です。場の工夫を中心に規則を考え、児童が「みんなが楽しめるように」を外さずに規則を選べるようにしましょう。

はじめの規則

- 3対3（実態によって変更可）
- 紅白に分かれる
- 1人紅白玉2つ
- 線の内側から下投げ or 下から転がす
- 目標物（ディスクコーン）に近いチームの勝ち
- 相手の紅白玉に当ててもよい

規則の工夫例

○場の工夫・・・コートを工夫する。

例 向かい合って交互に投げられるような場を作る。

目標物を1つではなく、2つ・3つにする。

○用具の工夫・・・投げるものを工夫する。

例 新聞紙にアルミホイルを巻いた球、紙飛行機、楕円球、タオルを丸めたもの

新しい生活様式を受けての留意点

○密集しないようにフープやラインを引いて、距離をとって運動する。

○グループや個人のペースで運動を行うことができ、長期休業後の体力に合わせて無理なく運動できる。

○個人で投げるものを持つので、用具の共有を避ける。